

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会規範論		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪	407	m.kobayashi	水曜日 16:00 以降		
授業の目的・概要	本授業では、社会生活を営む上での行動や判断等の基準になる社会規範についての基本的知識を基に実生活における様々な場面でのふるまいやルールについて考える。民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられ本年4月より施行された。それにより履修生には様々な社会規範を遵守する責任と義務が生るようになった。看護職者としての専門的な知識を習得するにあたり、社会人としての自らの在り方について考える場とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	事前、事後課題に取り組み、積極的に講義・ディスカッションに参加すること。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会規範の重要性について説明できる		HSU(1)(2)(5)NS(1)		
②	規範(社会規範・道徳規範等)の基本的な知識について説明できる		HSU(1)(5)NS(1)		
③	社会規範について自己の義務と責任について説明できる		HSU(1)(5)NS(1)		
④	倫理的課題の解決方法が説明できる		HSU(1)(2)(5)NS(1)		
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	「社会」「社会化」「責任と義務」「規範」についての基本的知識を学習する。	講義	事後課題①：授業内容をノートにまとめる。	4	
2	「社会」「社会化」「責任と義務」「規範」についての考えを深める。	講義・グループディスカッション・プレゼンテーション	事後課題②：授業内容をノートにまとめる。	4	
3	規範(社会規範、道徳規範、宗教規範等)について、事例を基に考える。	講義・反転授業	事前課題①：提示された事例について、自己の意見をノートにまとめる。	4	
4	規範(社会規範、道徳規範、宗教規範等)について、事例を基に考える。	講義・グループディスカッション・プレゼンテーション	事前課題②：3回目で提示された事例について、授業を受けたことで深まったことをノートにまとめる。	4	
5	成年年齢引き下げと社会規範について考える。(義務と責任)	講義	事前課題③：配布した「民法改正」の資料を読み、自己の義務と責任についての意見をノートにまとめる。	4	
6	成年年齢引き下げと社会規範について考える。(義務と責任)	講義・グループディスカッション・プレゼンテーション	事前課題④：成年年齢引き下げと社会規範について、自己の生活から1つ事例を挙げてノートにまとめる。	3	
7	これまでの講義で学んだ知識を基に、事例からの学びを共有する。	グループディスカッション・プレゼンテーション	事前課題⑤：事前課題④について、授業を受けたことで深まったことをノートにまとめる。	3	
8	7講までの授業内容を振り返る。	講義	事後課題③：授業での学びをレポートする。	4	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	10	45	15	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	30	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	5	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	5	10	0	10	25
問題を発見・解決する力	0	5	0	10	0	15	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓					
	②	✓					
	③	✓	事後課題③のレポート内容の深さを30%評価する。(1500字以上)			授業内で共有する。	
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓					
	②	✓					
	③	✓	グループディスカッション・プレゼンテーションでの取り組みを評価する。				
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓					
	②	✓					
	③	✓	事前課題①②③④⑤を各5%、事後課題①②を各10%で評価する。			授業内で共有する。	
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓					
	②	✓					
	③	✓	授業への取り組み姿勢を評価する。				
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験	看護師として23年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	看護師として病院の勤務経験を有する教員が、その経験と知識を活かし、社会規範の基本的な知識の修得を目指す。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・A4ノートを1冊用意して、事後課題についてまとめ、ポートフォリオとして、授業終了後に提出する。 ・レポートは、A4用紙両面を使いまとめ、時間厳守で提出すること。期限を過ぎると受け取ることはできない。 ・面接授業に際しては、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業への参加を認めない。 ・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるが、その際は随時、知らせることとする。 						